

# 常任委員会審査から

審査等の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

全文は市議会ホームページに掲載しています。

## 総務委員会

岡山市消防団員の定員、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定ほか6件の議案が付託され、全会一致で原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定した。

## 保健福祉・協働委員会

### ■要介護認定調査業務を

指定市町村事務受託法人に委託  
**委員** ● 令和2年度から調査を法人に委託するが、市の関与が弱まるのではないかと懸念がある。

**市** ● 法人に対しては、研修や指導を通じて調査の質の向上や調査員の確保など、今後も適切な調査ができるよう市の考え方をしっかりと伝えるとともに、協議の場を定期的に設けることも考えていきたい。

**委員** ● 調査員の報酬は調査件数の実績に応じた能率給を想定しているが、1件1件がおろそかになる懸念があり、固定給がふさわしいのではないかと懸念がある。

**市** ● 認定調査業務は月初めに調査が集中するため、勤務時間に柔軟性を持たせた働き方が適していることから、能率給が支給可能な方法として、法人への委託を選択した。

－委員から、要介護認定までに時間がかかることや認定区分について市民の相談を受けることがある。時間がかかる要因の把握や改善に向けた体制整備を可能な限り行うとともに、法人への指導も行いながら事業を進めてほしい等の要望があった－

### ◆用語解説 ※1【債務負担行為】

複数年度にわたる事業で、あらかじめ後の年度の債務を予算で決めておくこと

## 市民・産業委員会

### ■身近にスポーツを楽しむことのできる環境整備

－安全なスポーツ施設を持続的に提供できるよう個別施設計画（スポーツ施設）を策定－

複数の委員から、人口減少社会を見据えたまちづくりが求められている。青少年の健全育成や地域社会の再生といった、まちづくりの基幹的な施設としてスポーツ施設を整備していくという視点を持ってもらいたい。計画に記載があるように、状況の変化があった場合は適宜見直しをし、委員会にも報告してもらいたい、などの意見や要望があった。

## 都市・環境委員会

### ■岡山市・玉野市・久米南町のごみ広域処理施設の整備

**委員** ● 本市では剪定後の枝をごみとして出す場合、長さ60cm以下、直径12cm以下に切らないといけないが、他市のごみ処理施設では破砕機があり、大きさを気にせず出しても問題ない事例がある。最先端の広域処理施設になっても枝を小さく切らないといけないのか。

**市** ● 本市には岡南環境センター、東部クリーンセンター、当新田環境センターの3焼却施設があるが、当新田環境センターには破砕機もなく、焼却炉では大きなごみをそのまま受け入れることができない。また、ごみは搬入調整により3施設それぞれに振り分けられるため、統一した

### ◆用語解説 ※2【事故繰越し】

歳出予算の経費のうち、支出負担行為（支出の原因となる契約、補助金等の交付決定など）を行った後に、暴風、洪水、地震等の異常な自然現象など避け難い事故のため、その年度内で支出が終わらなかった場合に予算を繰り越すもの

基準で受け入れる必要があり、今のところは難しい。

**委員** ● 大きなまま持ち込める施設があってもよいのではないかと懸念がある。

**市** ● 地元の意見も伺いながら、市民にとってよりよいものをつくっていききたい。今よりも利便性が低下してはいけなくて、広域処理施設については破砕機の設置など、前向きに考えていきたい。

## 子ども・文教委員会

### ■財源確保についてさまざまな角度から国と協議を求める

－平成30年度から令和元年度に繰り越した、全小学校に空調設備を整備する予算について、2年度に工事を完工するため※1債務負担行為を設定する。理由は、平成30年7月豪雨災害と、昨今の小学生の熱中症の事故を受けて、全国の自治体で空調設備の整備が重なったことが影響し、人手不足による入札不調が続いたため－

**委員** ● 国の補助金を活用するものなので、2年度への※2事故繰越しができなかった場合に、一般会計で持ち出す金額は、

**市** ● 実際の契約額に対して持ち出し額は変わらぬと思うが、約1億円を見込んでいます。

**委員** ● 災害の復旧・復興による業者の人手不足の影響で空調設備等の工事に支障を来すのであれば、国が事故繰越しを認めなければならぬ。1億円くらいなら仕方がないだろうとは思わないと思う。さまざまな角度から手段を講じてもらいたい。